

Only on Comic Market 76

F840 BADEND



成人向け書籍

*本書は「F840」本編序章のアナザーストーリーです



それを考えるのは
……もう止めよう

何でこんな事になっただのか……

あーッ

あッ



あの人のせい
だなんて絶対
思いたくない

悪いのは……
全部こいつら

目の前にいる
こいつらが悪いに
決まってる

あッ

あーッ
あーッ



いや……あんたも
災難だよなアって話

何よ……

キッ

カチカチ……



……どうしても
分からない
……
ただとそれでも……
何で
フェイトさんは
あんなモノを……

おい……

あんな上官
もつちまって

おっお

ビクッ

ビクッ

ホント
思うわ

気の毒だって

おっお

おっお

おっお

おっお

…いやはや
まったく

こんなモン
入れて任務に
あたるって…
そりゃ
失敗すんの
目に見えてる
だろうに

おっお

根っからの変態
魔導師だな
…あのバカ女

おっお



事情は……
分からない
でもッ……

……ん!!

……アンタたちみたいな
最低なヤツにあれこれ
言われる筋合いはないわよッ

へえ……

まだ
かばうのか?
あの女を
人質にとられたせいで
お前までこういう目に
遭っちゃってるのに



……だがな



……何度も
言ってるでしょ

悪いのは
アンタたち
犯罪者
フェイトさんは
悪くないッ

必死に
取り繕いやがって

ふん……



いくら
頑固そうな
アンタでも

放しなさいよッ

このッ

ちよ……つと
放しなさい……いッ

は……い
お嬢ちゃん
いらっしや……い

……んっ……
……んっ……



もっと酷え
とぼっちりを
食らえば……さ

ニヤ

……考えも
変わるんじや
ねーかなあ
オイ

な……!!?

と

と

そのまま
押さえつけ
とけなア……
今……挿れる
からよお



勇敢な局員さんが
そんなに男の
コレを怖がって
どうすんだよ

へへ…
慌ててんな

ちよ…
離してッー!

バタッ

ヒッ
ヒッ

いッ…
イヤッ

ヒッ…



イヤッ…だ

やめなさいよ
このッ…

バタッ…
バタッ

あークソ
動くんじや
ねえって

言ってるだろ!



ズッ
グッ

ぐっ



あつ...あが...

おろ...おろ...

かつ...ああ...

んー

...おいおいマジかよ



こいつ処女だッ!

あんな偉つそうな口俺たち相手に叩いといて

はあ

はあ

まだ男を知らねえガキだったのかよ



ぬち

あーららあホントだホント

可愛そうにお嬢ちゃん...初めてだったんだあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

へへっ…
その点こっちの女は
そこそこ遊んでる
みたいだぜ

ズッ
ズッ
ズッ

最初はまあ
それなりに
歯向かって
きやがったが…
チンポぶっ挿したら
途端にこれだ

んぐも

ま…
あんなパイプを挿して
歩いてるような変態がよッ
可愛いだけの女の子
なわけないもんな



う…う…

よお…やっほ
アンタの上官…
…相当な好きモン
みたいだぜ?
見てみろよ
あの顔…

はッ

はッ

ズッ
ズッ
ズッ



んー？
こんな下品に
涎たらしちやつて…

ぜーんぶ俺が
舐めとってあげる
からねー
フエイトちゃん

んんん
んんん

なあフエイトちゃん…
俺そろそろアタタの
裸が見たいなあ…

おっぱい吸って
あげるからさあ……

んんん!!
んんん!!

ぐゅほ
ぐゅほ

ぐゅほ
ぐゅほ

そうそう……
口開いてま……
そのまま
舌の先まで
感じちまうたろお？

んん

んん

んん

んんん

正直……

シヨック……
……だった

こんな事になつたのには何か深い事情があるに違いない

そういう気持ちに変わりはないけれど

あ...あ...あ...

フェイトさんが羅漢相手に見せているあの顔は...

あ...あ...あ...

私の心を砕いていくのに充分すぎる...





ははッ……
こりや凄え

あぁ……
このニオイ……
大好きいッ

もっ……
酒蔵……

はッ
はッ

気持ち良すぎて
ついに一本……
イッちまったな
フェイトちゃん

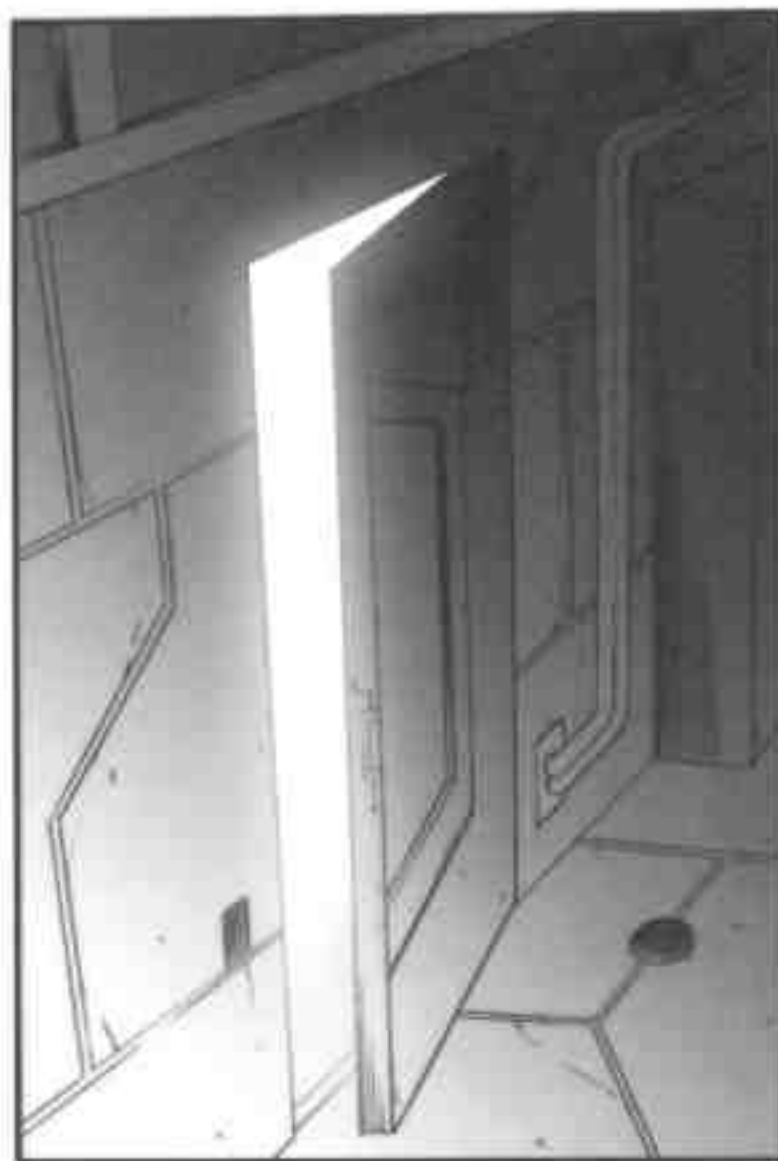
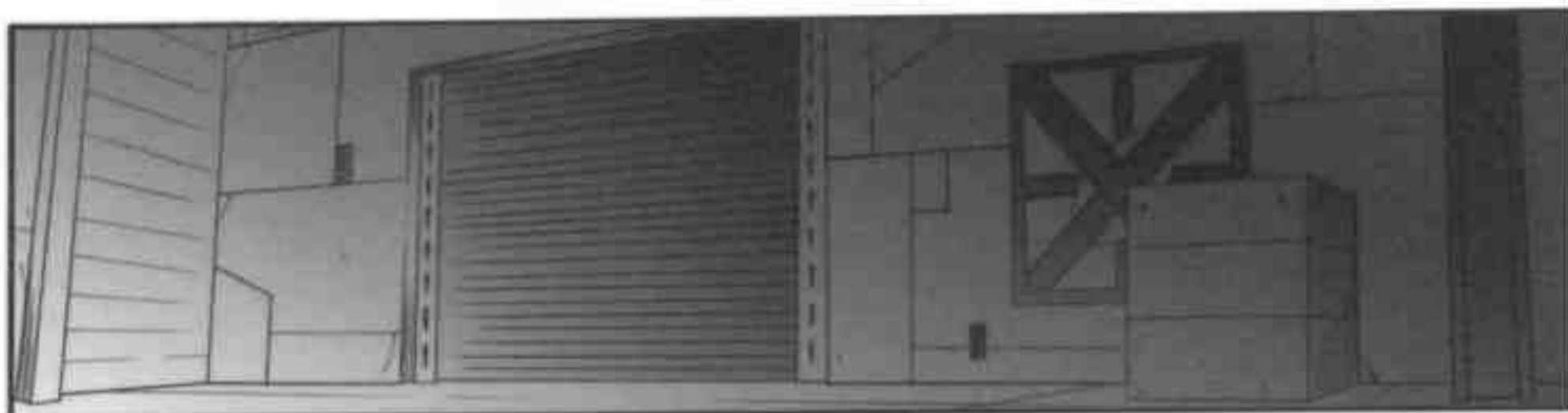
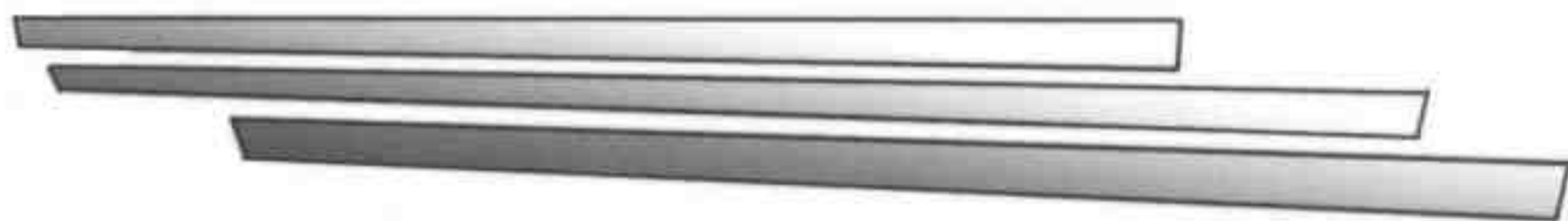
バンド解いたら
自分から
チンポにしゃぶり
つきやがった

喉ご……
興奮しちゃうッ

はい……
精液大好き……
であ……ッ

ほら……
口開けなよ
この臭くて
ドロドロしたのも
好きなんだろう？

とろ……
とろ……
ま〜ん



なにせ

自分の愛機でオナる
最っ低な行為だからなあ

あ……ッ
またイクッ……

イツちやう
私……あ……
……イクッ
ふあッ……

ほっ

ほっ

ほっ

クロナミミラーミミコ
……イツちやうらッ

ぐ、ちゅ
ぐ、ちゅ

ぐ、ちゅ

ぐ、ちゅ
ぐ、ちゅ

この惨めな姿は
ありつたけの
サーチャー使って
一瞬たりとも逃さない
つもりだぜえ

あ……
あ……

ぐ、ちゅ

ぐ、ちゅ
ぐ、ちゅ

ぐ、ちゅ



おーい!
こっちにもサーチャージャー
一台まわしてくれよ

どーやら執務官サマの
腹の痛みが
限界らしいんだ

あ...あ...あ...
出さうミ...

...もめ...ダメ...
我慢...
できないいッ

さあ...
たつぷり...
見せてくれえ...
フェイトちゃん



キミの死ぬほど
恥ずかしい
シーンをね

あ...あ...あ...

はあ...あ...ミ

はあッ



END



目の前の光景が
信じられません
でした

あのフェイトさんが
……
苦戦を強いられて
いたんです

*本書は「F840」本編序章のアンナリーストーリーです

『F-840 BADEND』 発行日：2009年08月16日

発行：サイクロン
印刷：株式会社コーシン出版 様
連絡先：webmaster2@cyclone.sakura.ne.jp

* 乱丁・落丁のお取替え申請やお問い合わせ等につきましては、上記のメールをご利用下さいませ
* また、感想などを頂けましたら幸いです(´▽`)

Printed by ko-sin
PREMIUM COLOR 「虹」

イ
ベ
シ
ト



限
定
本